

我孫子市の失語症会話パートナー 養成・派遣事業について

我孫子市障害者福祉センター
言語聴覚士 竹中啓介

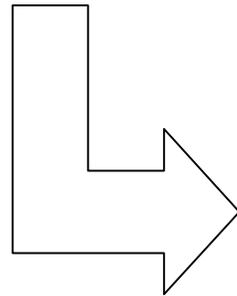
我孫子市障害者福祉センター



- 訓練

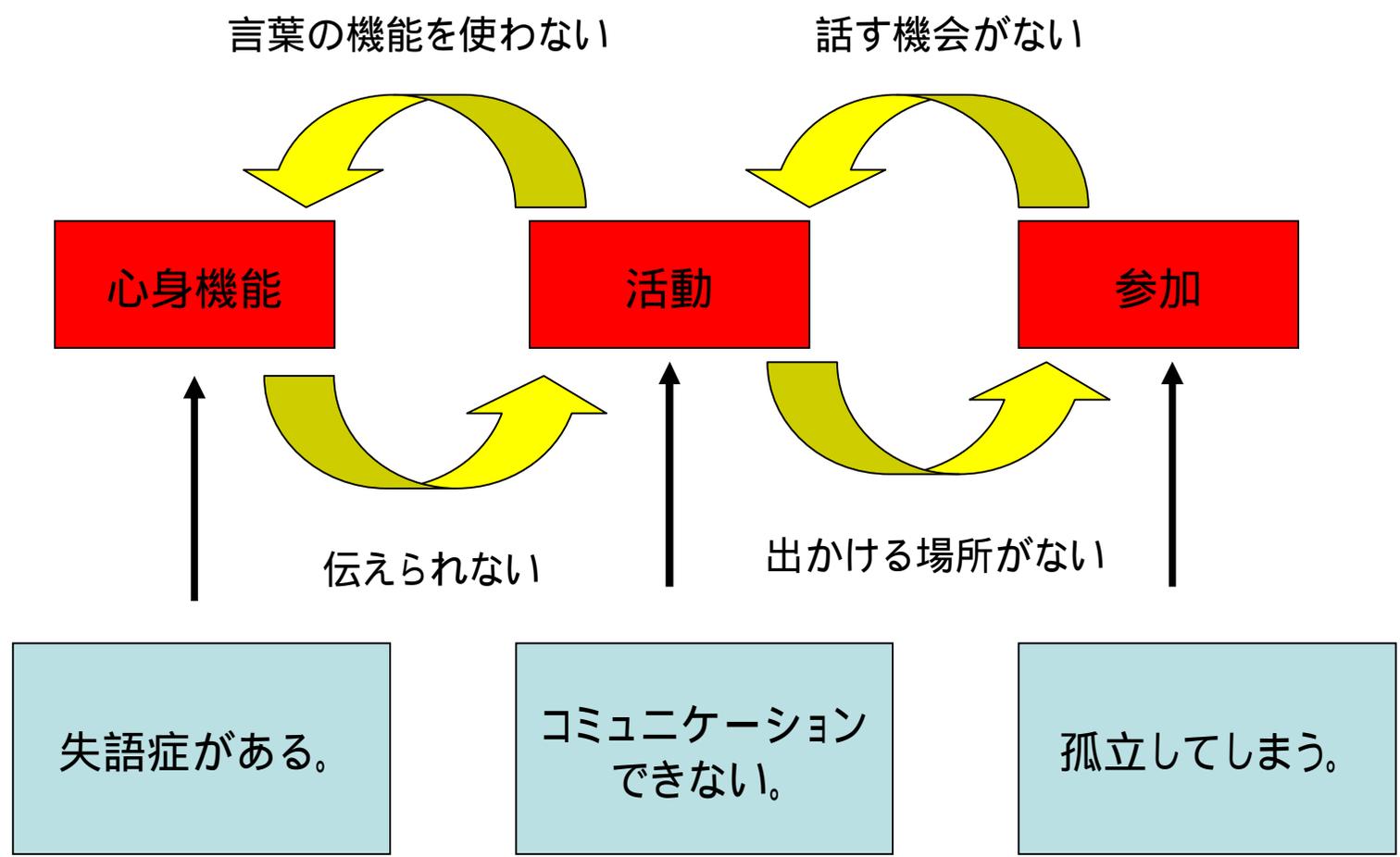


- 創作活動、スポーツなど

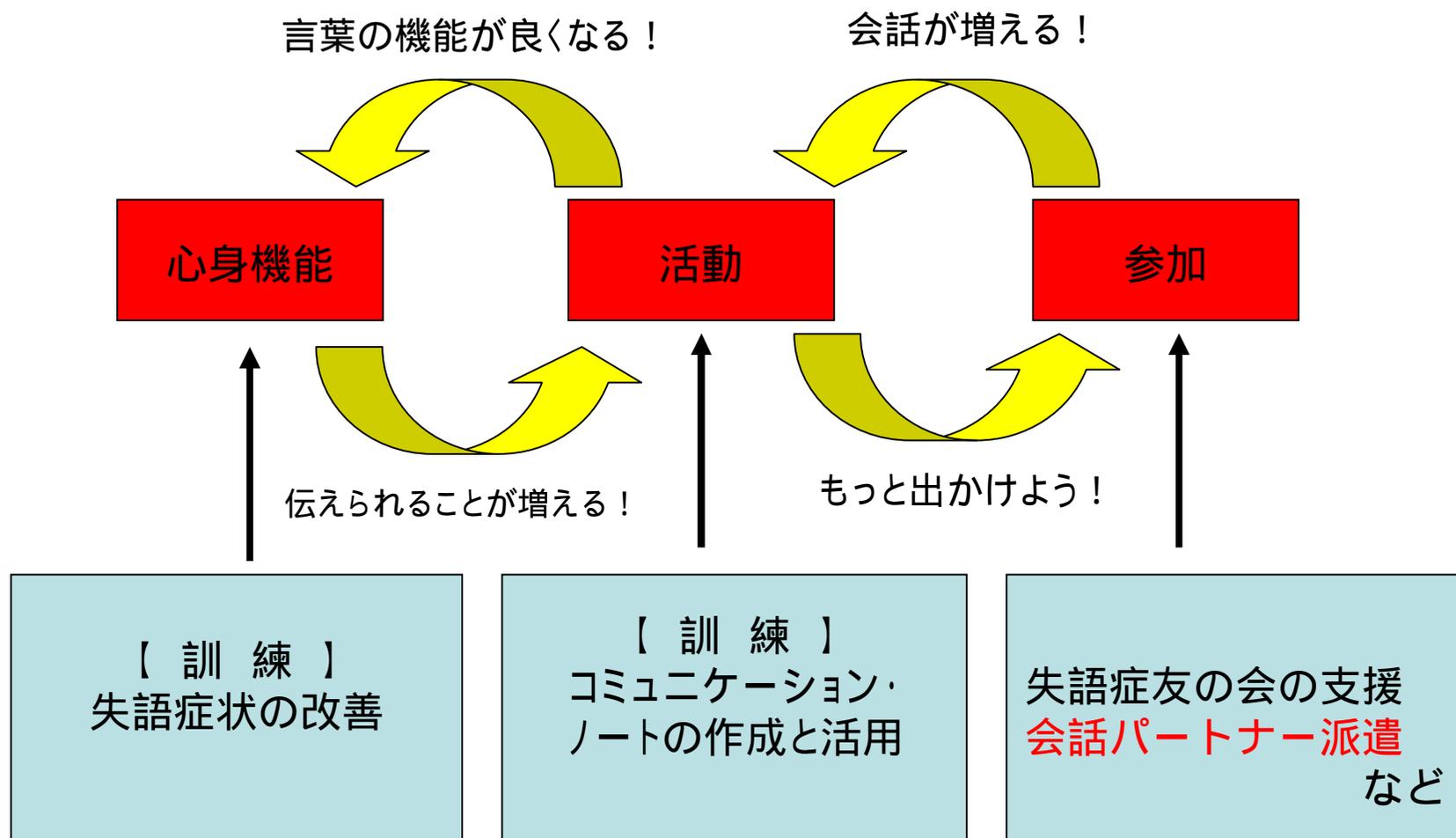


自立、社会参加

失語症の方が抱える生活機能の問題



我孫子市の失語症の方に対する支援



平成14年度の計画の失敗

- 会話パートナーを派遣するといっても…



よくわかりません。
話したくありません。

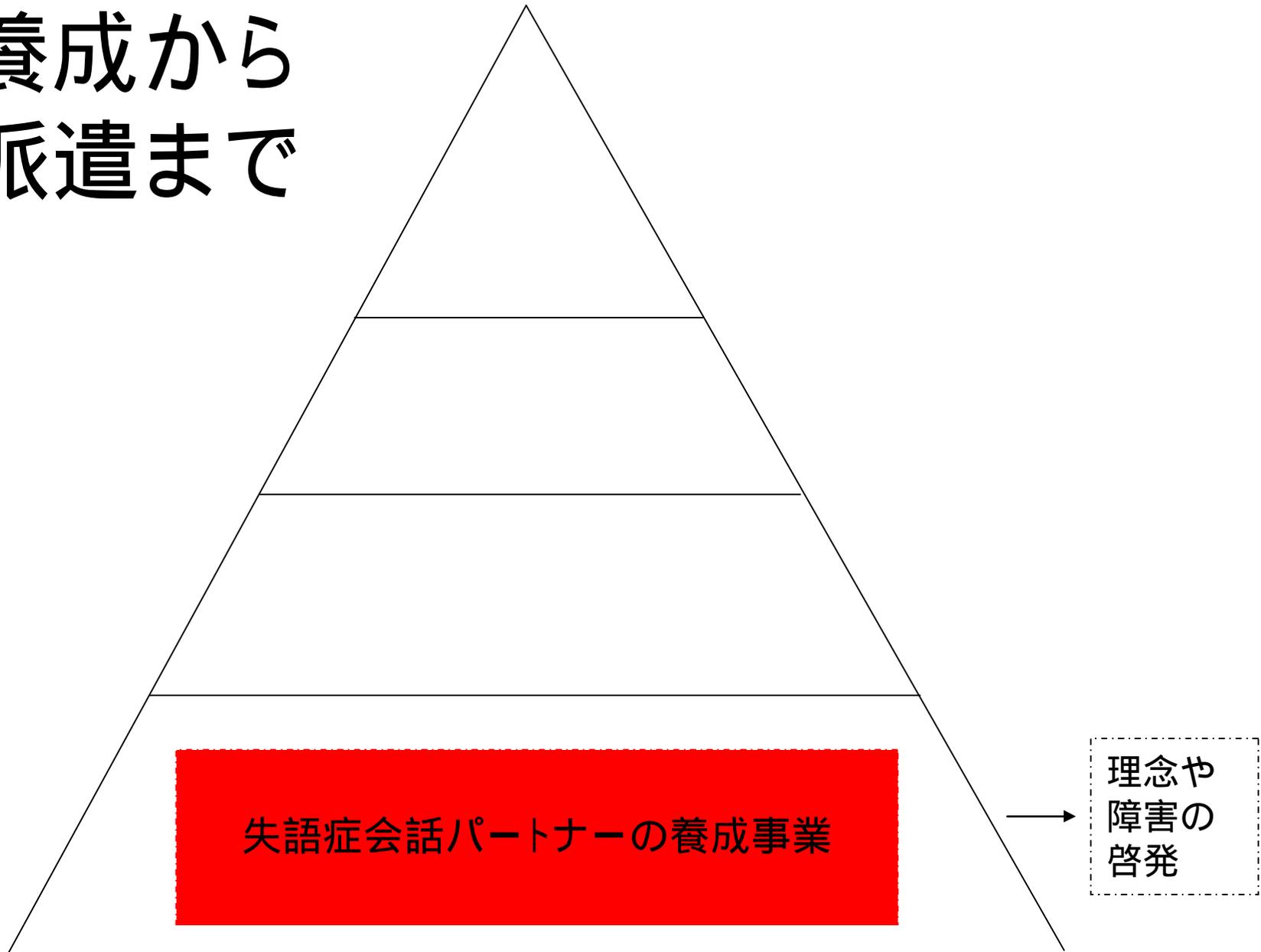
私は結構です…



- 利用者がいない…



養成から
派遣まで



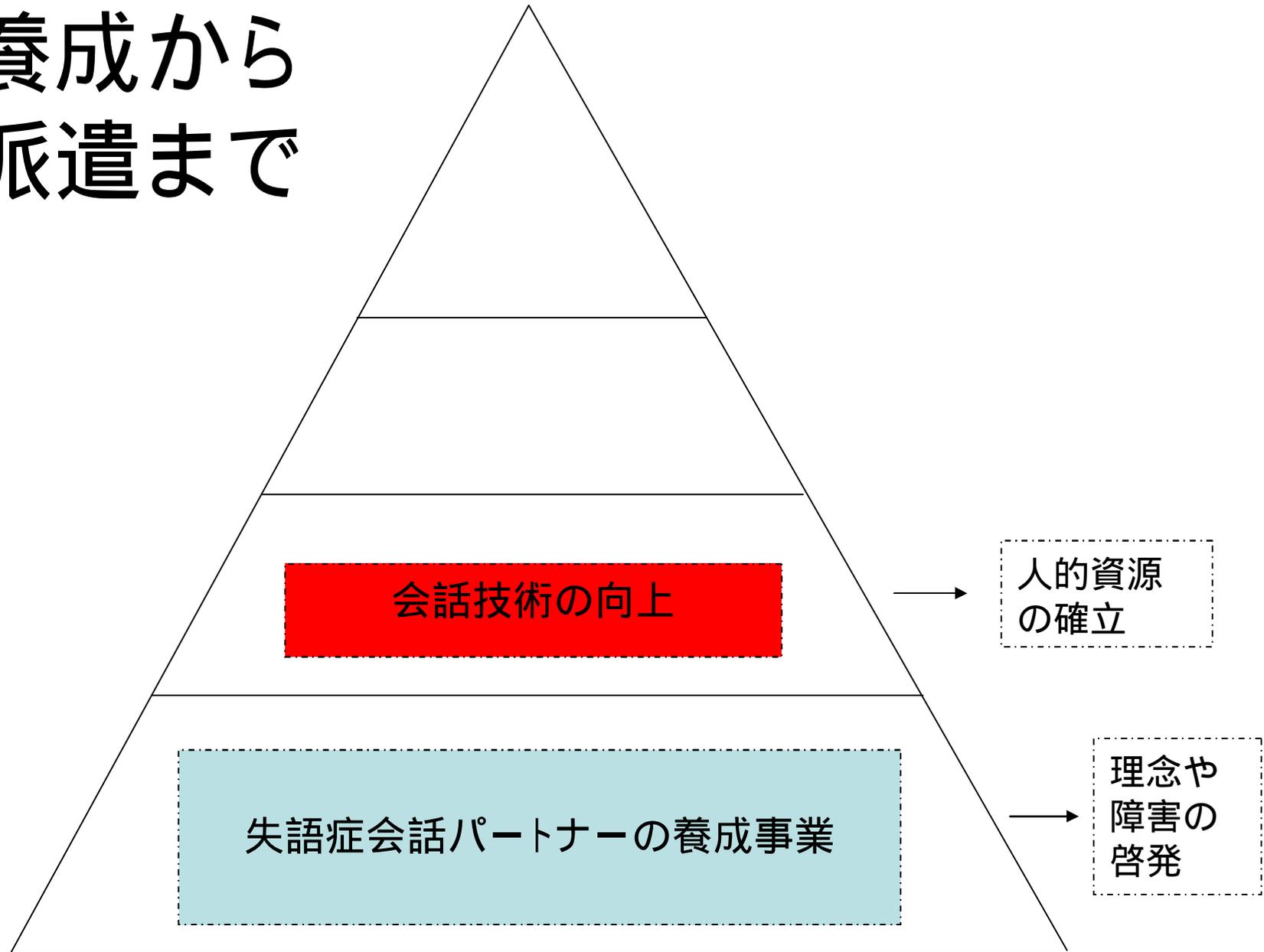
失語症会話パートナー養成事業

- 目的 : 失語症の方の地域活動を支援する人材を養成
- 内容 : 講義5回、実習5回の養成講座を開催
- 期間 : 平成16～20年度 16年は調査研究
- 養成人数 : 30名
- 受講費用 : 無料

失語症会話パートナーの養成人数

| | 平成17年 | 平成18年 | 平成19年 | 計 |
|-----|-------|-------|-------|----|
| 修了者 | 15 | 11 | 10 | 36 |

養成から 派遣まで



会話技術の向上 ～ スキルアップ講座の開催 ～

期 間 平成18年4月から平成21年3月まで
概ね毎週、金曜日

時 間 14時から15時まで

場 所 東我孫子近隣センター「こもれび」

内 容 コミュニケーションの練習

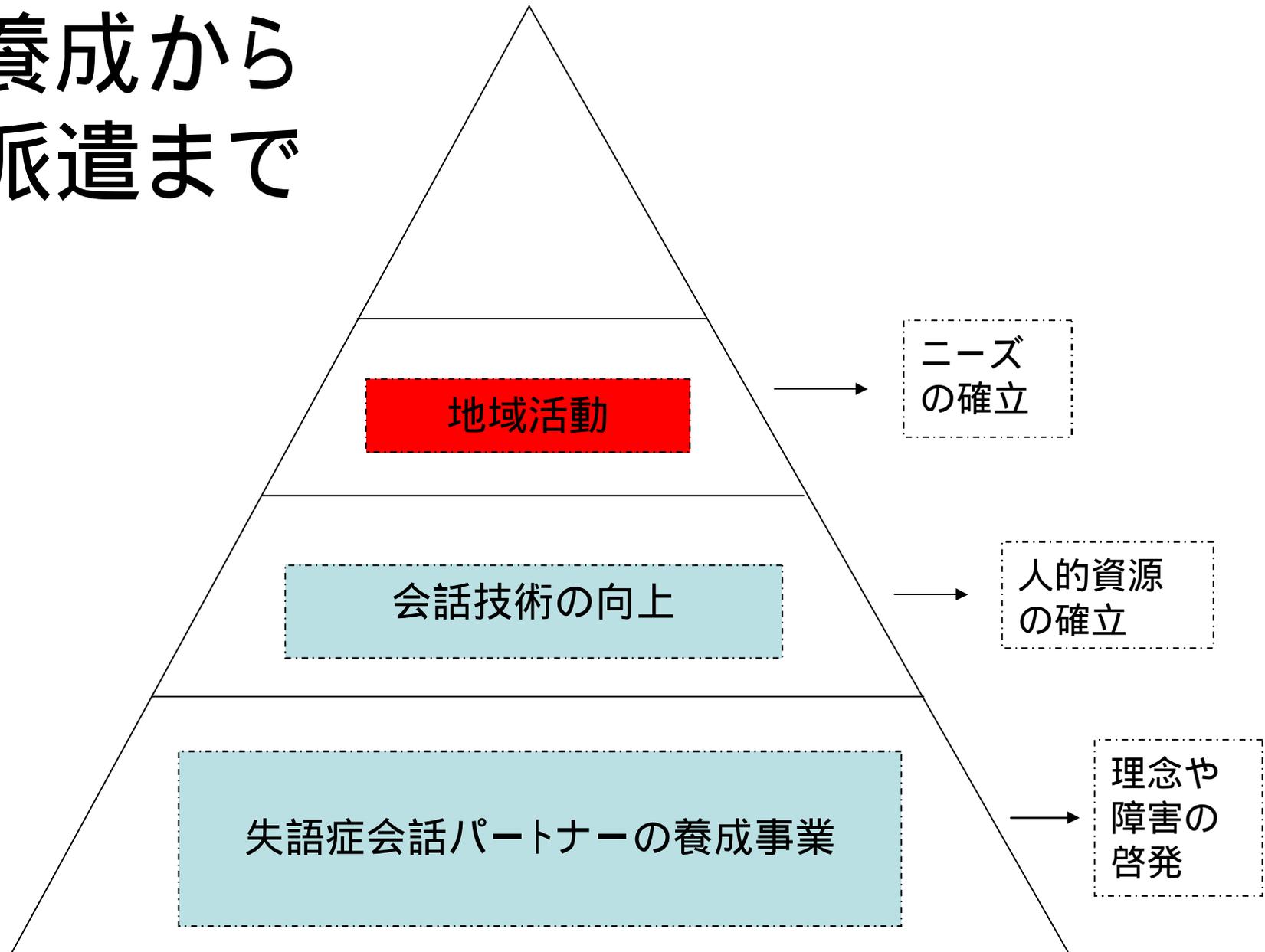
スキルアップ講座の様子



平成19年度 スキルアップ講座 参加人数

| | 人数 | 平均 |
|----------------|-----|-----|
| 会話パートナー 延人数 | 213 | 5.2 |
| 失語症の方 延人数 | 223 | 5.4 |

養成から 派遣まで

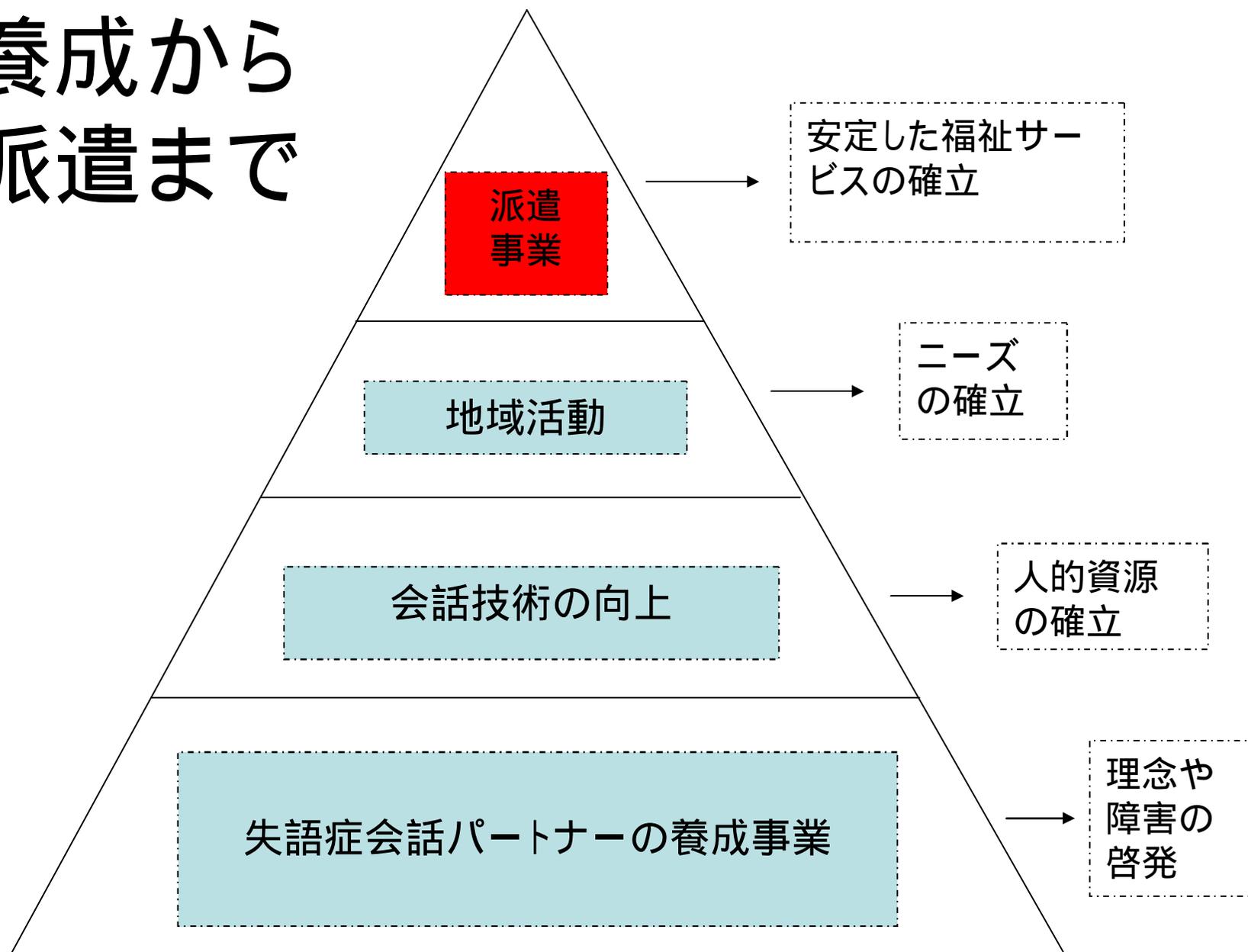


「あゆみ」我孫子失語症友の会

- 活動目的 : 交流と啓発
活動内容 : 年2回の例会、旅行など
会員数 : 30名程度



養成から 派遣まで



失語症会話パートナー派遣事業

- 目的 : 失語症の方の社会参加を支援します。
- 内容 : 公共施設に会話パートナーを派遣します。
会話パートナーには、報酬を支払います。
- 実施年度 : 平成19年10月～
- 利用料 : 失語症の方は無料です。

我孫子市の養成・派遣事業の特徴

1. 自治体である市が直接実施しています。
2. 毎週開催しています。
3. 新しい交流の場を提供しています。
4. 会話パートナーに報償が出ます。

今後の課題

1．派遣範囲の拡大

【課題】外出の支援、在宅訪問

【問題点】トイレ、移動の介助が必要な場合は？

2．他のコミュニケーション事業との一本化

【課題】手話通訳、要約筆記等と同じ条例で施行
できるか？

【問題点】個人派遣が実現できるか。

3．失語症友の会との連携

失語症会話パートナー「こだま」のご紹介

失語症会話パートナーの会「こだま」

代表 鈴木 江里子

【会の発足】

- H18年、会話パートナー養成講座一期生12名で発足
- H20年現在、二期生、三期生も加わり、19名で活動

【会の目的】

- 失語症の方のコミュニケーションのサポート
- 失語症の知識と会話技術の向上
- 会員相互の交流と親睦

【会の活動】 総会(年1回)、定例会(月1回)

【今後の予定】 友の会との連携、他団体の見学など

感想(1)

- コミュニケーションの手段を失った人の悲しみや苦しみがわかった。
- たくさんの前向きに生きようとしている人たちと知り合うことができた。この関係を大切にしたい。
- 会話の技術や知識だけでなく、言葉の奥に流れる気持ちにも寄り添いたい。
- 失語症の人が回復していく様子を間近に見ることができ、うれしい。

感想(2)

- 自分自身に、知識や文化、教養などの情報がなく、なかなかスムーズに会話ができない。
- 性格がせっかちなので、相手の方を尊重した話し方ができるようになりたい。
- 街中で偶然、失語症の人が困っている場面に出会い、助けることができた。「ありがとう」と言われてとてもうれしかった。
- 何となくあわただしい毎日のなかで、失語症の方の話にじっくりと耳を傾ける時間は、自分自身にとっても、貴重な時間だと思う。